



2017 年 2 月 8 日(水) 定例会講演要旨

## 視覚障害児に教育という光を与えた人々

手稲郷土史研究会

金山在住 岡田 信一 会員

盲学校とは？弱視を含む全盲の生徒に健常者と同様な学習を行えることを目標として設立された学校である。学芸大学卒業後、小樽盲学校に赴任してから 40 年間 8 校で教育に携わった。学芸大学卒業者で特殊学校勤務者は一人もいなかったため、珍しがられた。

### 鬼ごっこの開始

小樽盲学校に赴任し教員室にいてもやることがないので教室に行き生徒になにがしたいか問いかけたところ「かくれ鬼」がしたいとのことで出来るのかと聞いたら触れば解ると言うので生徒と行った。生徒は盲人なので鬼は逃げる生徒にドーンとぶつかる。あぶないと注意すると先生は健常者だから見えるけど私たちは見えないのでこのようになるとのことだった。

### 点字習得時の問題

点字は 50 音の場合、ひらがな・かたかな・記号の括弧、カギを除いた全てとアルファベット、数字が特殊な紙に横に 2 個、縦に 3 個の凹凸の点で、濁音、擦音は同様に縦 3 個、横 4 個で表示される。読むときは指でなぞっておこなう。授業では点字の 50 音一覧表を利用し先生から点字の凹凸のルールと指の使用方の説明を受けて実際の演習をおこなう。50 音表を習熟語、名詞、動詞、形容詞等の演習習得後、実際に読書(小説、教科書)を行い、先生より指導を受ける。

### 白杖の使い方

白杖は利き腕で持って左右 2 箇所、或いは左右中央の 3 箇所で左右、前方の音を確認しながら歩行する方法がある。左右中央で手に何物かに触った感触がある時は扉、石等の障害者がある場合であり、左右中央に凹んだ感触がある時は道路に穴、窪みがあるので転倒、衝突しないよう注意して歩行する。又、周りの音の音色(警報音、車両音、人、犬の声等)及び方向を意識して接触しないように歩行する。

### 材料と形

#### 《形》

箱なら現物を用意し実際に手で触ってもらい、教師が横・縦・高さ・底を説明し形状を認識出来るまで根気よく説明する。

(下駄箱、椅子、テーブル、電話機、壁付け電灯スイッチ等日常生活での必需品)

#### 《材料》

紙、木材、鋼材(鉄、アルミニウム等) 他の材料で出来た箱を手で触って感触の違いが認識できるまで丁寧に説明する。

外に花瓶、コップ、フォーク、スプーン、食器等日用品及び靴(革・布・合成樹脂)も同様に、又、色・透明・透視も工夫し生徒に理解させた。



## 北海道の炭鉱盛衰記

手稲郷土史研究会会員

星置在住 松永 恭一 氏

私は、バッテリーメーカーの社員として炭鉱の坑内で使用する安全灯(キャップランプ: 化成ソーダーを原料とする電池)の仕事に係わって来ましたので、主に北海道の炭鉱の歴史についてお話します。

北海道は炭層が広大な地域に分布しており、全国47都道府県の中でも九州地方とともに炭田と言われる産炭地が多いところです。

石炭は数億年前の植物が腐敗分解する前に地中に埋もれ、地熱や地圧を受けて変質(石炭化)した植物化石です。



### 開国と採掘

1853年米国のペリー提督率いる黒船艦隊が外国船の燃料となる石炭と物資の補給のため開港を迫りました。翌年、日本は「日米和親条約」締結。

日本で初めての採炭は、釧路地方の白糠炭鉱での坑内掘り採炭でした。

採掘された石炭は海上運送であったため塊炭が粉炭になってしまい、評判が良くなかった(品質は悪くなかった)ことから岩内の茅沼炭鉱での採掘調査が開始され、小樽港に陸送。そこから海上運送されました。

### 北炭の誕生と衰退

黒船艦隊の来航から16年後の1869年(明治2年)、開拓次官黒田清隆は米国人ホーレス・ケプロンを招き、石炭産業を育てるべく開発に着手、幌内炭田の採掘が始まります。

1879年(明治12年)、官営幌内炭鉱と官営幌内鉄道が誕生します。7年後の1886年(明治19年)、明治政府は北海道庁に経営を移管。初代道庁長官の岩村道俊は、1889年(明治22年)官営から民営に政策転換をおこない北海道炭鉱鉄道会社が誕生! これが、日本一の「北炭」の誕生です。

1880年代から1890年代にかけて道内の90パーセント以上を生産する独占的生産体制を誇っていましたが、やがて「北炭」は戦争体制の波にのまれ、鉱員が兵隊や軍需工場にかりだされる混乱期を迎え、生産を伸ばすことが出来ませんでした。

### スクラップ・アンド・ビルド

1960年代に入ると原油の自由化が始まり石炭産業は斜陽化、「スクラップ・アンド・ビルド」と言われた生き残りを図りますが遂に1995年(平成7年)空知炭鉱を閉山、120年続いた坑内掘り炭鉱は姿を消すこととなります。

尚、現在国内では釧路コールマイン(旧太平洋炭鉱)が限定的に坑内掘り採炭(海底炭)を行っています。他に、空知、美唄、芦別地区で小規模露頭炭採掘を残すのみとなっている。

### 炭鉱事故・多発

《夕張、くうばり、坂ばかり、一発ドカンとくりゃ死ぬばかり》と言われた大規模な坑内事故はメタンガスの突出、メタンガス爆発、炭塵爆発、坑内火災事故などが多発、1912年から1985年の73年間で国策としての炭鉱産業。近代化や、産業発展のエネルギーを支えた「石炭」、その裏には大きな犠牲がはらんでいました。

道内24炭鉱だけでも死者・不明者合わせて2,319名、重傷者8名というとてつもない多くの犠牲者をだしました。

今でも多くの方々が冷たい地底に眠っていることを忘れないで下さいという。

私達の今日の生活は多くの先人の犠牲の上に成りたっていると感じずにはいられません。

(文責:佐々木)

## 明治人が造った新川開削から 130 年!

春、藻岩山から手稲山に連なる山々の雪解け水を飲み込んで、満々と水を湛えながれる新川は、都心のビル群を背景(写真)に合わせると、どこかヨーロッパの街並みを思わせる。



前田中央橋から札幌都心を望む

### 道都!! 3都市流域を流れる運河

手稲郷土史研究会の新川・運河部会では、新川開削 130 年を記念して「新川流域を楽しくする会」の発足を目指し活動しています。

新川の歴史を通して郷土を知り、流域に関係する北海道、札幌市、小樽市、石狩市とも連携し、新川流域の魅力を掘り起こし、運河としての可能性を探り、地域の魅力発見に繋げていきたいと考えている。

### 歴史を開いた手掘りの運河

1869年(明治2年)松浦武四郎によって「北海道」と命名され、2018年(平成30年)は150年目の節目を迎えます。現在、道庁を中心に記念事業等が検討・計画されている。

北海道の開拓は、その方向性をアメリカ人のケプロンに託し、農業から工業に至るまで黒田清隆を中心とした開拓使の指導により開花したという歴史を持っている。

そうした欧米化気運のなか1886年(明治19年)に新川は開削され、1888年僅か2年で完成を見るのである。政治経済の中心となった道都札幌への人や物資の輸送に必要な道路や鉄道、河川整備等が急がれた。

### この川の持つ魅力

何といっても人間によって掘られた川であるということに尽きる。

桑園競馬場付近から石狩湾河口(小樽内)まで約13Kmを掘ったと伝えられている。当時、琴似川や発寒川などの度重なる氾濫は、周辺の開拓農家などに甚大な損害を与えていた。

新川の完成は、明治人の北海道開拓に賭ける決意と意気込みの表れであり、まったく新しい川(運河)を造るという事業の原動力になったと言える。

### 新川に舟が浮かぶ夢を見たい

今年の7月7日(川の日)には、舟を浮かべ河口までゆっくり行きたいと計画しているがどうなるか。開削当初の舟運を試みたい。(文:渡部孝次)

### 次回の予定

2017年4月12日(水)

「第12回総会  
と懇親会」

手稲区民センター2階  
第1・2会議室

時間:18:00~20:30

主催:手稲郷土史研究会